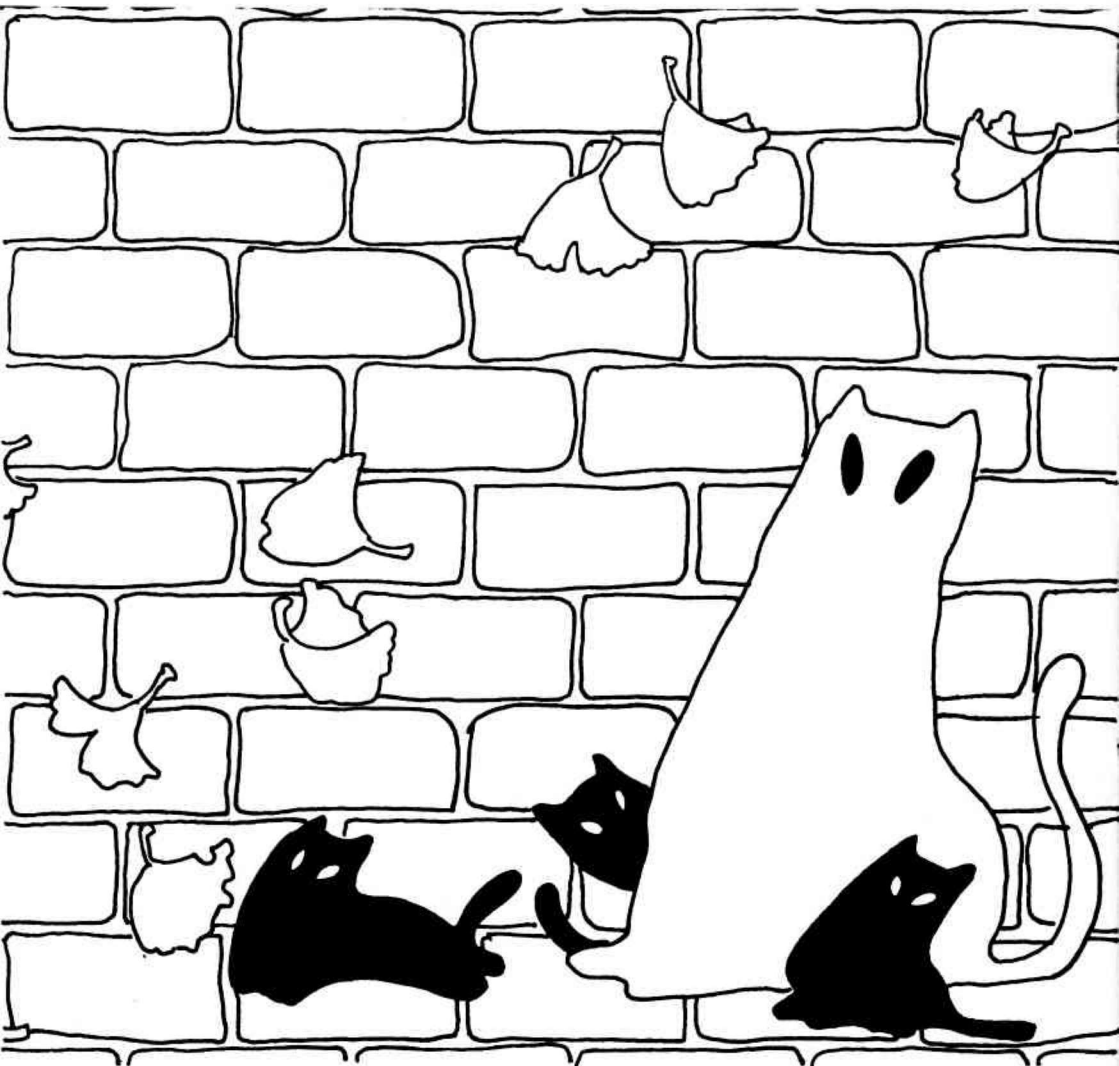


紫筍

第 23 号



都立文京高等学校同窓会々誌

白塚郷子 画

ブラバン演奏会 3月 21日 (土・祝) 開演 PM1:30
荒川区民会館

四十周年記念誌・名簿のご購入を (同封郵便振替で)

ダンス講習会・パーティのご案内 P14

名簿訂正を

同窓会では、毎年3月に名簿を発行しております。住所、電話、勤務先、その電話等お知らせ下さい。改姓なされた方、新しく就職なされた方ご通知を。クラスの方の追加、訂正などもお寄せ下さい。

クラス会・同期会の開催を (幹事の方は、名簿訂正を) 会までお知らせ下さい。

目次

	(32期H組) 白塚郷子・絵	表紙
お知らせ・目次		
マイクと生きて(旧制二期五組) 中西良		2
インタビューを終えて係から		7
社会人となって(32期C組) 世良照代		8
演劇活動を通して(32期B組) 小林節彦		9
図書館と私(32期G組) 吉村園子		9
外山君ステージに・会員名簿・お申込みを		10
文京吹奏楽団・定期演奏会について		11
ダンス部からのお知らせ		14
市三会・川越見学会・第三回かしの木会		15
教職員異動・同窓会決算・予算		16
進路状況(国公立・私立4年・2年)		17
進路状況(専修学校・就職)		18
編集後記		19
賛助会員名簿(お申し込み下さい)		20

第5弾

マイクと生きて

中西 竜りゅう さん

ヒューマン文庫シリーズ

昭和二十八年、明治文学英文科を卒業後、NHKにアナウンサーとして入局。現在、ラジオ番組を中心に独特の渋味のある声でナレーターを務める。アナウンサー室でもその語りのうまさば群を抜いている。二男の父。旧制二期E組昭和二十八年卒。

御好評をいただいた前号の直撃インタビューに続き、今回は渋谷のNHK放送センターに、アナウンサーとして古くから御活躍されている中西竜さんを訪ねてみました。インタビューは生放送を控えられた忙しい中、三十分間にわたって行なわれました。



Q こちらの道に進まれたキツカケは何ですか？

A これに入ったキツカケはね、うーん、まあ、ここに入れば、こんなこと言っちゃ可笑しいですけど、何かチャンスがあつあつてね、お芝居をやるためにもつと、ここを土台として雄飛できるんじゃないかと思つて入つたのね。ついにできないまま二十七年経つちやつたですよ。明治学院を卒業してすぐだから、二十八年の採用ですね。だから、本当はお芝居をやりたいかつたんです。

Q そうだったんですか。それで、今ここNHK放送センターではどのような仕事をされているのですか？

A 今僕はナレーターですから、原則的にはナレーションですね。どのような番組を担当していらっしゃる

Q のですか？

A 今、レギュラーとして持っているのは、「日本のメロデー」っていうラジオ番組で、月曜日から金曜日の夜、十時二十分から三十分まで。これが僕のレギュラー番組です。

Q 番組の内容をお話し下さいませんか？

A ええ、この番組では、送られて来たリクエスト葉書きや手紙を読んで、御希望の曲をかけるんですけど、十分間っていう短かい時間ですから一回に二曲しかかかりませんが、最後に歳時期から俳句を引用して、アドリブでその俳句の説明をつけて……。そういう番組です。で御支持の層は初老の御婦人、そうですね……。今の若い人たちが、高校生からの手紙などはないのですか？

Q

今の若い人たちが、高校生からの手紙などはないのですか？

A ええ、たまにはありますけどねえ。

それから十二月に入りますと、これはもう既に録音してあるんですけども、十二月一日から十二月いっぱい、えーと、土曜、日曜を除いて、連続ラジオ小説、江戸川乱歩原作の「吸血鬼血を吸う女」っていうのが放送されます。時間は夜の九時五分から九時二十分まで。それは十二月いっぱいだけです。

声優？ アナウンサー？

Q あの、ナレーションだけではなくて、声優としてのお仕事もおやりになつていて、というお話をうかがっているのですけれども……。

A ええ、なんかねえ、僕はさっきも言ったように本当は芝居をやりたいから、森繁久弥さんのところに弟子入りしたかったんですけど、その頃はちよつとせりふができませんでねえ……。だからまあ、あの部屋では——部屋というのはアナウンス室のことですけど——せりふができるのは、私一人くらいかなあ……。まあ、変な言い方だけど。だから連続ラジオ小説が始まると、対象は高校生くらいですけれど、「おじさんはアナウンサーですか

声優ですか？」なんて葉書きをよくもらうんですけどね。ですから、ニュースだとか、選挙だとか、火事の現場とか、そういうのは全く関係ないんです。私の仕事には。

Q そうですか、報道番組とは全く関係無いということですか。

A はい。むしろそういうのは嫌いですから、芸人がかつたような部分の多い仕事の方が好きです。——芸人と言っちゃ失礼ですけど。特に文芸作品の朗読なんっていうのはやっぱり一番好きですね。あの、番組で言ううと、「私の本棚」なんかですね。

Q 中西さんの高校時代についてお聞かせ下さいますか？

A 私は、最初は聖学院にいたんです。二年の時に市立三中（文京高校）に来たんです。

Q 編入されたんですね。

A ええ。二年、三年、四年生を文京で過ごしました。時あたかも戦争中でした。ねえ、ゲートルを巻いて、あの編み上げの靴を履いてねえ。木のランドセルをしょって……。で、文京高校っていうのは——当時はこの学校でもそうでしたが——まあ、ゲートルのまんま悪いことっていう

か、遅刻なんかすると、砂利の上に正座させられてねえ……。当時はねえ、あの駅から一列縦隊でねえ。並ばせられて——というよりも自然に並ぶようにして学校に行くわけなんですけれども、歩くって言っても、フルスピードの歩き方ですね……。まあ、いやな思い出ばかりなんで、あんまり高校時代のことは語りたくないくらい。本当に悪いんですけれども良い思い出なんか何も無いよ。朝礼の時は裸でねえ、裸体操だしさあ……。僕は虚弱児童だったから寒いしねえ、授業の時はできないとすぐ出席簿でたたかれ

国語大好き、理科苦手

Q 中西さんが卒業されたのは昭和二十年、つまり終戦の年ですから、高校時代はちょうど戦争中だったんですね。当時の軍国主義はすごいものだったんでしょうね。当時学校ではねえ、国語と漢文の時間だけが楽しみでした。自分で言ううと変ですけど、国語と漢文のよくだきた生徒でした。特に物理の先生だった人はおつかなかっただしねえ。電気のところ、直列と並列の違いは？」なんて言うでしょ？

ギザギザの記号かなんかを書いて、「抵抗」っていうの？なんで抵抗をギザギザで表わすのかなんでねえ、そう思いましたよ。

Q 今は教師が少しでも暴力を振うとたいへんですよねえ。「暴力教師」だの何だのって騒いだりして……。

では卒業された後はどうなされたのですか？

A 僕は今で言う千葉大学の農学部、当時は松戸高等園芸学校って言いましたけれども、その園芸科っていう所に入っただけです。菫菜っていうのは野菜のことね。人蔘とか大根ね。

Q 園芸科ですか。そうしますと農業の方を指されたのですか？

A それはねえ、僕は継親育ちで家にいたくなかったから。当時高等専門学校の蔬菜園芸科は全寮制だったんです。寄宿舎だったんです。それでそこに逃れたかったから。それだけの理由です。そこは一年でやめて、中央大学へ行って、そして最終的には明治学院です。中央大学ではいわゆる予科ですから一般教育の学科を学びました。明治学院の方は英文科に入っただけです。

Q 高校時代は国語と漢文が好きだったというお話でしたが、英文科に進まれたというのはいくつですか？

A 留学できると思ったからなんです。明治学院っていうのは、キリスト教関係の学校でしょ？当時フルブライトの奨学金制度とかがいっぱいあってね、キリスト教がファンデーションになっている学校は有利だったんですよ。それだけの理由だったんです。

Q 留学というのはどういうところからできたのですか？

A 何かよその国へ行ったかったのね。単純なんです。卒業するまでは留学のことを考えていました。ただフルブライトっていうのは難しくてねえ、でねえ、読み書きだけじゃやないの。あれ会話もあるんだよねえ。それであきらめました。

単純、素朴な芝居を

Q それでは突発的にNHKの方へ入られたのですか？

A そうですねえ……。ただ、お芝居も放送局もだいたい似たようなものだと思うのね。そこがまちがいだったなあ……。でもね、後悔はしてませんよ。

Q 先程からお芝居という話がよく出てくるのですけれども、学生時代にお芝居の天地というのはあったのですか？

A 多少ありましたね。演劇部にいましたから、自分じやうまかったつもりですけどねえ。(笑い)僕はね、目的のお芝居っていうのは嫌いなね。新劇みたいな匂いのプンプンするようなのは嫌いです。今日終わって明日消えちゃっていいんですよ。今のお芝居でいうと、松竹新喜劇みたいなね。もう単純でいいのね。理念だの、目的だの、理想なんてため。見て笑って、見て泣いて、明日もまた生きていこう、そう思えるのがいいですね。

Q 現在、何か趣味をお持ちですか？

A ええ、小説を読んで雑文を毎日書くことです。原稿用紙三枚。これは一人の親友に宛てる手紙ですが、それをためておいて四年に一ぺんずつ送ってきて、これを清書して本屋から出すんです。今までに五冊出しました。それから後は絵画の鑑賞です。

Q どのような絵を御覧になるのですか？

A うん、めつたやたらと、洋の東西を問わず。ですから秋は忙しいですね。展覧会のシーズンでしょ。銀座のギャラリーや

A Q

上野周辺が主ですがあちらこちらでかけました。それから後は、神社仏閣。割合仏教の方に関心が深いですから。

「仏教のどういうところに魅かれますか？ うん、老いも若きもやがて土に帰るんだから、やっぱり手を合わせて感謝して生きていくのがいいと思うんですよね。単純に言えば、やっぱりねえ、与えられた命っていう感じの方が強いですからね。」

「新婚生活を楽しむから子供をつくるのは当然やめよう」って言うのね。「子供をつくる」っていう日本語は僕にとってはタブーです。そういう使い方をする人、僕は嫌い。子供っていうのはつくるものじゃなくて、あれは恵まれるものだから。英語でいうと、blessing っていうんですね。それで英語では、洒落た上流階級の人たちは、「お子さん何人いますか」っていうのは、How many blessings? っていうんですね。そうやって聞くわけ。やっぱり子供っていうのは親が勝手につくるんじゃないやなくて、誰かから恵まれるものっていう考え方に立った方が、人生が豊かになると思いますけど。だから

時代のせいではない……

よく僕らも反抗しましたよ。何だあ、あの男と女が勝手にねえ、好きなことやってオレを生みやがってなんて言ってる。だから若い頃は親に悪態ついたりしてねえ。そういう言い方とっても反省していません。

Q

お仕事柄若い人と接する機会もおありかと思いますが今の若い人たちをどう御覧になりますか？

A

今の方っていうのは受験勉強に追われて大変だということを中心思います。でも昔もあつたことだね、世の中やっぱりしようがないんです。ある部分弱肉強食だね。戦つていかなくちや勝てないんだから。と言つても今は余りにも過酷過ぎますけどね。それから、世の中こんな物があるのに今の学生さんっていうのは失礼だけど、昔の学生さんの半分も本を読まないし、字は知らないし、文章は書けないし、やっぱり不足の時代に育つた人間は、限り無き知識欲っていうのかしら、まだ足りない、まだ勉強が足りないと思つてますからね。勉強するんじゃないんでしょかねえ。北大の寮歌つてあるでし

A Q

よ？ねえ、それから第三高校の唱歌歌なんて。「都ぞ弥生の雲紫の……」って、ああいう歌詞なんか十八才の少年が書いてるのよ。「滝口入道」っていうのありますねえ、高山樗牛の小説で。当時高山先生は数えて十九才。僕は子供が二十才でしてね、そういうことを言つてよく説教するんですけど、「時代が違うよ」ってすぐ言いますけれどね。時代なんか違わないよ、問題はやる気ですよ。今は遊ぶ所が多いし、飲む所が多いからそっちの方に好奇心がいつちやうからね。物があり過ぎるから人間が怠けちやつてしようが無いねえ。我慢する部分が無いから世の中発達しないんですよ。腹八分つていう世の中じゃないとねえ。お金さえ出しや何でもあるでしょ。まあそんなこと言つてもそういう世の中なんだからしようが無いですよ。人生七十年生きて二万五千五百日ね。八十年生きて二万九千二百日なの。三分の一寝てるから人間の一生は二万日つきりないの。今日もその二分の一なのね。大切だと思つてしょ。テレビ文化をどうお考えになりますか？ つまらないもんだと思いますね。放送局に勤めていてそんなこと言つちや合わな

いけど、なるべく見ない方がいいですよ。御覧になるんだつたら良く選んでね。大部分はくだらないものだから。あれはねえ、スイッチをひねると向こうから来るもんでしょ。こっちから active に受容しようと思つて近付くものじゃないんですよ。こういう positive なものつていうのはダメですね。active に生きていかないとね。だから僕はテレビを見る暇があつたら本を読むんですよ。

人間優しくなければ

生きていけない

Q 二十才のお子さんがいらつしゃるということでしたが、お子さんに対する希望などはありますか？

A ニンベンにウレエルと書いて「優しい」つていう字なんです。でこの字は同時に「すぐれている」つて読むんですよ。ニンベンというのは他人様の事なんです。人の事を自分と同じ様に真剣に心配する、優える、心使いをすることが優しいこと。それらは同時にすぐれているつていうんだから、優しいつていうのは人間の徳目の中で一番優れていると思つていいですよ。

字もそう教えていますしね。だからそういう子になつてもらえれば他の事は何も望みません。食つていければね。あの、イギリスの探偵小説が何か言つてゐるらしいんだけど、「しつかりしていなくて生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない。」つていう言葉があるんです。その言葉を僕は長男にいつも言つて聞かしてきました。お嫁さんもね、いいですよ。誰を連れて来ても。但し本人を大切にする自信があるんならね。人に迷惑かけないで、今言つた様にニンベンにウレエルつて書いて「優しい」つていうことがよくわかつて、それがイコールすぐれているんだつてことだけ一生かけてわかつていくような子になつて欲しい、それだけです。

インタビュを終えて……

お会いする前は、きつとお仕事柄厳しい方だろうと思つていましたが、実際はとても人間味のある優しい方であるように思いました。言葉を交わした瞬間、「あつ！あの番組の声だ！」とすぐにわかる独得の渋味のある声色で、初対面にもかかわらず親しみを懐しさを感じました。又、「現代の若者は字を知ら

ないし、文章が書けない。」等、ジャーナリストとしての厳しい指摘もあり、現にこうして筆を取つてゐる者にとっては耳の痛い話もありました。生番組開始直前のインタビューだった為、とてもあわたたしなかつたのですが、慣れた私達に快く応じてくださり、インタビュー前の緊張もすぐとれ、時間を気にしながらもまだまだお話しをうかがいたい思ひでした。インタビュを終え、中西さんはスタジオの中へと消えて行かれました。その後ろ姿に仕事に対する厳しさと情熱を強く感じました。

係から

係では、直撃インタビューの一層の充実を図つてまいる方針ですが、とりあえず次号に登場していただく方を皆様から御推薦願いたつて考えております。御級友の方、先輩、後輩で御活躍されていらつしやる方がございましたら、是非とも御連絡下さい。卒業年度は問いません。

文京を卒業して

—— 昨年度の卒業生から ——

社会人になって

32期C組 世良照代

文京高校にとって私はあまり大きな存在ではなかった。私にとっても文京は小さな、軽い存在でしかなかった。しかし、入社後、何度「文京高校卒業後の世良です。」とあいさつしてきたであろうか。今になって「文京時代は良かった」と思うわけでもないのだが、自己紹介の時、無意識に口にしてしまうこの言葉に、何故だか驚くと共に、苦笑せざるを得ない。

私の会社生活は、この言葉から始まったわけだが、やはり研修の三ヶ月は辛かった。営業課の為、電話、来客府村、証券作成、その他雑用で、めまぐるしい忙しさが続き、後悔こそしなかったが、辛くて泣くことも多かった。私の、会社での辛さは、自分の無知からくるものであった。常識のなさ、そこからくる仕事の覚えの悪さ、ミス……、この悪循環が絶えず私につきまとい、苦しめた。仕

事仲間は、皆、有名短大卒以上ということもあり、「高卒だからか……。」といわれないうちに頑張ろうと必死の毎日だった。何もかもが新しく、知らないことはかりの世界に、目を輝かせ、胸をときめかせて自分で進んでいっただけに、どうしても仲間には負けたくないという気持ちが強かったのだと思う。

今では、会社にも慣れてきて、楽しい事が増え、あの頃の苦痛も、忘れてしまったようだ。しかし、まだまだ、覚えなければならぬ仕事もたくさんあるし、いろいろな知識も養わなければいけないのだが、今は、新人であることに甘え、多忙な日々を追いかけられ



ながら、なんとか頑張っているありさまだ。

今の私は、社会に出たのではなく、学校から、社会に行くようになっただけでしかないように思う。とても大きくて、見えない力で動いている会社の温室に、知らず知らずのうちに自分を甘やかし、ずうずうしくそこに温まっているだけだ。私は、社会とは、自分の振るまい方で、自分にとっていろいろ異なったものであるように思える。一生懸命に、自ら立ち向かい生きようとすれば、冷くあしらわれ、甘えてすがって生きて、自分と向かい合わせに微笑んでいけば、とても信じられないほどそれがすんでしまう。不思議なもので、すべてがそうで、そのまま甘えていけば、自分はいくら死んでしまう。

まだ入社後一年もたっていないのでわからないことばかりだが、いつも向上心をもって、「初心忘るべからず」で頑張ろうと思っている。

そして最後に……
こうして思うと、「高校時代」それは、自分をみつめる、とても大切な時期だったと思う。限らない自由な時間を使って、素直に、そして正直に、自分に問いかけ、ぶつかった貴重な時間であった。

(東京海上火災勤務)

演劇活動を

通して



32期B組

小林 節彦

今年の三月、運よく現役で大学に入り、大學生としての新しい生活が始まりました。高校時代の僕は、クラブも一年あまりでやめてしまい、かといって勉強するでもなく、一日一日を惰性で過ごしていました。何も熱中するものがない、自分のいる場所がない、こんな悲しい状態が、高校時代の大半をしめていました。三年の後半は、その居場所を体験勉強に置いて、どうやら受かったわけですが、こんなものはその場かぎりのものです。だから大学が決まった時は、大学では自分の好きな文学の勉強をして、それによって充実した日々を送ろう、と思っていたのです。

しかし大学の授業を受けてみると、一年の間は日文の専門科目は一つだけ、残りは一般教養と呼ばれる生物・物理・法学・心理学・日本史等の理科・人文関係科目と、語学ばかり、それに授業も、四、五百人ぐらいいはいる大教室でマイク片手に九十分もだらだらとしやべるといふ退屈なもの、僕はすっかり失望してしまいました。

そんな僕を救ってくれたのは、そのころ入った演劇部でした。もちろん前から演劇に興味は持っていました。入学した当初の目的は勉強でしたし、入学した時もそんなに深入りする気はなかったのです。しかし入部するとすぐに、目前にせまった二年生だけの新入公演の準備を手伝わされ、パンフレット作り、校内での公演のピラ配り、会場作り等もろをやらされ、その間にも演劇の練習として、発声・肉体訓練などもあり、片手間にやる所じやなくなりました。そしてそれが終わると、七月の夏公演の練習が始まり、それには役者として出させてもらい、どんどん演劇にのめりこんでいきました。そして、それと共にかつて得たことのない充実感を得ることができ、灰色になりそうだった僕の大学生活を救ったのです。今では練習の間に授業に出ているという感じで、「文学部演劇科」というような状態です。プロになる気はないので、専門科目主体となる三年からは、勉強を中心にしていくつもりですが、今の状態からぬけ出せるかどうか、ちよっと不安も感じてはいるのです。それほど今の僕にとって演劇とは、魅力的なものであり、大学生活の大部分を占

めているものなのです。そして、高校を卒業した時には答えられなかった、在学中何をしていましたか？の答えを、大学卒業時には言えることができるでしょう。

(法政大学・文学部一年)

図書館と私



32期G組

吉村 園子

私にとって文京は良い学校であった。何がどう良かったのか、なぜ良かったと言えるのか、私には定かに言い表すことができないがあるいは、私の内的世界が成長すべきある時期に、環境としての文京が、いろいろな要素を考え合わせ損得差し引いてみて好ましい適したものだったのだ、とでも言えようか。

とにかく私は文京で過ごした。文京と切り離すことのできない数年間から、大いなる養分を吸収した。だから私にとっては文京は、人生の重要な基礎に関係した大切なもの思っている。

私は図書委員を二年間つとめた。元来本が好きで、中学校時代を通してずっと委員だっ

た私は、当然のことのように図書委員になった。週一日ある当番の日は、放課後図書館のカウンターの所で貸し出し・返却の応待をする。大抵の日は全くヒマであった。(ただし、試験前には見事に混んだが。)閉館時刻になると、司書の先生がブザーを鳴らして生徒を追い払う。委員はそしてその日の貸し出し状況を記帳し、カーテンを閉める。夕方の西日がよくはいったものだった。私は特に、冬暖房のはいつている頃など、図書館の静かな雰囲気(もちろん図書館というものは静粛を旨とするから、概して静かであった。)の中をカラカラカラ、と車輪の音をさせながら、返却された本を積んだ移動できる本棚みたいな台を引っぱって、本を分類番号通りに棚に戻すのがとりわけ好きだった。長年これをやっていると、大抵の本のありかはカンでわかるようになるものだ。今でも私はどこかの図書館へゆくと、棚の本が乱れていたたり番号順になっ
ていなかったりするのを見つけて、本能的に直したくなる癖が止まない。そんな風におもしろかった事はたくさん思い出される。文京の図書館はお馴染み連のたまり場みたいな雰囲気になることもあって、授業やクラブ活動などとまた違った存在意義をもっていた気がする。卒業生というものは、毎月がたつた

つれ、母校を訪ねてみても知った顔もなく何となく居場所がない感じを持つものだと思うが、図書館はクラブ的なつながりを持ち、しかも司書の先生という「主」もおられ、具体的な場所を不変に持っているから、「図書館OB」が訪ねてゆける良さがあると感ずる。

私は卒業後大学に進学して来たが、まだまだどうして、前途洋々どころでない。先の見通しも立っていない。たどもつと学問し勉強し自分を磨きたいと思う気持であるばかりだ。学者にでもなればいいが、学者といい研究者というのは努力したらえられるというように簡単なものではないだろう。とても力及ばないと感じる。だがあきらめることはできない。そうなる、私が頼りうるわずかな力をつけて養ってくれた他ならぬ文京での生活が、特別に大切なものとして思われてくる。私がおこがましくも学問の道を行こうとする力の一部は、文京に負っている。

(お茶ノ水女子大学・地理)
トトト 外山君ステージにトトト

前号で紹介した外山博君(31期G)が、二年間のバンド・ボーイ生活から念願かなって有馬徹&ノーチェ・クバーナのトランペッターとして、近々その華麗なサウンドに加わることになった。今後の精進と活躍を期待。

昭和55年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年組	電話
会長	渡辺 剛 彰	20-A	811-7704
副会長	西岡 部 曜	20-C	811-6311
計 査	渡部 敏 夫	46-H	386-6724
監 査	太田 次 彦	26-A	0484-64-3983
記 簿	榎 本 幸 三	31-C	917-5430
報 告	椿 光 春	4-E	0426-42-0051
名 簿	池 健 二	24-H	812-1334
会 報	永 田 綾 子	32-H	968-9270
ス 登	島 田 綾 子	32-G	941-4294
	藤 沢 洋 二 郎	42-C	957-9533

—◇—◇—◇ お申込みを◇—◇—

- 1、四十周年記念誌(A4版56ページ)と送料 一五〇〇円
 - 2、名簿(B5版300余ページ)と送料 二五〇〇円
 - 3、「四十周年記念誌と名簿」と送料(送料一回分が安くなります) 三五〇〇円
- 方法
① 同封の郵便振替
② 現金書留郵便で
③ 直接御来校(連絡の上)ご来校を)



文京吹奏楽団『第六回定期演奏会』

荒川区民会館大ホールで (3/21)

- 期 日：昭和56年3月21日（土・祝）
- 開演奏：1：30 P M
- 会 場：荒川区民会館大ホール（都電区役所前下車）
- 曲 目：ジュビランド序曲（リード）、サクソとバンドの為のバラード（リード）、組曲第1番（ホルスト）、オーバー・ザ・レインボー、大脱走のテーマ、サウンド・オブ・ミュージック・メドレー、ティコティコ、日本民謡メドレー、行進曲「青春は限りなく」（奥村一）、音楽祭のプレリュード（リード）、「運命の力」序曲（ヴェルディ）他
- 指揮及び独奏：仲田 守（Sax）
- 演奏者：文京高校吹奏楽部、文京OB楽団
- 主 催：文吹会（文京高校吹奏楽部OB会）
- 後 援：文京高校同窓会、○入場料3000円
- 連絡先：260-6488（三須千香子）

私たちのクラブは、卒業生と在校生との縦のつながりが他のクラブ以上にあり、そのつながりを強めたり、日頃の練習の成果を発表したりする定期演奏会もすでに六回を数えるまでとなりました。今回は荒川区民会館というとても大きく、すばらしい会場で演奏ができ、一同意欲に燃えております。

昨年の演奏会より松下功氏から仲田守氏にタクトが渡されましたが、今年の演奏会では氏を指揮者としてだけでなく、東京校成ウィンドオーケストラ、キャトルローズ・サクソホーン・アンサンブルなどで活躍されている氏のサクソホーンの音色を、ソリストとして楽しんで頂こうと思っております。曲目もアンケートなどの御意見を取り入れ、クラシック・吹奏楽のオリジナル・ポピュラーの他に、行進曲・民謡メドレー等を組み込み、皆様に楽しんで頂くように工夫いたしました。また、少しでもすばらしい演奏会になるようにと昨年の夏、一年生と数人の卒業生で舞台の後の看板のデザインを凝らし、全て私達の手で作りました。

私達はまだまだ未熟ではありますが、今後とも努力を重ねていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

文京生像を探る

—生徒広報委員会調査から—

昨年十月、文京高校広報委員会が「生徒生活意識調査」と題し、全校生徒対象にアンケートを行ない、そしてその結果を自治新聞に掲載した。今回は、広報委員会の協力で、十二間の質問を選び、現在の文京生の姿を追ってみた。

Q1 あなたはどこにいる時、一番楽しいですか？

一番多いのが学校。理由はクラブや友人がいるから、が挙げられる。次は自宅、これは比較的、クラブに属さない「帰宅部」の人達が多いのではないだろうか。そして、わずかに「通学途中」という答えがある。注目すべきはその他に、書店、映画館など自分の趣味に関連した場所も多かった。他には三年生に多いのだが、喫茶店にいる時が一番楽しいという人達で、文京生には喫茶店愛好者もかなり多いようだ。

Q2 楽しみにしている学校行事は何ですか？

一番多いのが文化祭で、これは学校全体の大きな行事であり、全員が楽しめるものもある。そして次に多いのが修学旅行。高校生活の中で一度だけの旅行でもあるし、後々の思い出となるものだからだろう。映画教室、遠足など丸一日使って遊ぶ、といった感じの行事もなかなか人気が高い。文化祭と並んで大行事であるはずの体育祭は意外に人気が低い。同様にスポーツ大会についても同じ結果が出ている。不人気行事としては駅伝大会、それと今度一年生を対象に隣なつた歌舞伎教室は支持者が全然ない。

Q3 この学校の長所と短所はどういった所ですか？

長所は、一に自由な雰囲気、二に明るく活発、これにも文京の生徒像がよく出ている。逆に、「真面目である」といった解答はゼロに等しい。

短所については、けじめがない、陰気さ、などの項目を設けたが、全て、一様に埋まっている。つまり、文京生にとっては短所ばかりが目立つことになる。

Q4 一日の平均勉強時間はどれくらいですか？

一・二年生は、三十分未満という人が多い。そんなもので足りるのだろうか。傾向としては、二年生の方が一年生より勉強していない。中だるみの状態をよく表わしている。一方、三年生の平均は三、四時間がほとんど。他に一・二年生にも一日五時間という努力家がわずかにいた。

Q5 現時点での具体的な進路希望は？

これは三年生だけに対象をしばつた。男子は私大四年制、国公立四年制大学希望者で、ほとんどを占めている。女子は、私立四年制大学、短大の順で、他は各種専門学校、就職希望者がほとんどである。

Q6 あなたの悩み事は？

トップに来たのが学校の成績、遊び好きの文京生には仕方ないところか？次に進路について、これは誰もが持つ悩みだろう。この二つが大半を占めている。他には一年生は異性についての悩みを持つ人が非常に多い。

Q7 悩み事の相談相手は？

男女別にいってみよう。男子は自分で解決すん人がほとんどで、残りは友人に相談する人がわずかにいる。女子は、逆に自分で解決

問1. あなたはどこにいる時一番楽しいですか 通学途中 2%

学校 44.6%	自宅 28.6%	その他 25%
-------------	-------------	------------

問2. 楽しみにしている学校行事はなんですか

文化祭 23%	宿泊旅行 22%	映画教室 11%	遠足 10%	体育祭 15%	その他 11%
------------	-------------	-------------	-----------	------------	------------

問3. この学校の長所と短所はどこですか

長所 自由な雰囲気 31%	明るく活発 26%	男女の仲がよい 24%	さっぱりしている 15%	<small>まじめである けじめがついている 4%</small>
短所 けじめがない 24%	だらしない 22%	陰気くさい 19%	酒れちまっている 18%	自分勝手 17%

問4. 1日の平均勉強時間

30分未満 19%	1時間以内 23%	2時間以内 27%	3・ 12%	4・ 12%	5・ 7%
--------------	--------------	--------------	-----------	-----------	----------

問5. 現在の進路希望 (3年)

男 私大四年制 45%	国公立 33%	未定 15%	<small>各種専門 7%</small>
女 私立4年 37%	短大 27%	専攻 17%	就職 11% 8% <small>国公立・未定</small>

問6. 現在の悩み事

成績 37%	進路 29%	異性 18%	その他 16%
-----------	-----------	-----------	------------

問7. 相談相手は?

男 自分 72%	友人(同性) 24%	<small>その他 4%</small>
女 友人 69%	自分 26%	<small>その他 5%</small>

問8. 自殺について

ほとんど思わない 42%	たまに思う 47%	<small>たびたび思う 11%</small>
-----------------	--------------	-------------------------------

問9. 飲酒・喫煙について

迷惑をかけなければ 48%	黙認 26%	賛成 7%	反対 19%
------------------	-----------	----------	-----------

問10. 今の高校生活に満足しているか

一部に満足 63%	すべて不満 21%	わからない 16%
--------------	--------------	--------------

問11. 趣味は

聴く 29%	作る 24%	スポーツ 17%	楽器 13%	その他 17%
-----------	-----------	-------------	-----------	------------

問12. 戦争について

賛成 5%	反対 95%
仕方なく 7%	すすんで 1%

する人は少く、ほとんどが同性の友人を相談相手に選んでいる。男女共に、両親、兄弟、先生などは相談相手として不適当なようだ。

Q8 自殺を考えた事がありますか?
深刻に悩む、という人はほんのわずかで、あとは大半が思う事もある、一度も思った事がない、等の様に、悩み事の解決がうまくいかなかった。

Q9 高校生の飲酒、喫煙について、どう思いますか?
人に迷惑をかけなければいい、という解答が非常に多い。人に迷惑をかけなければ、という事は自分らに迷惑がかからなければいい、という事ではないだろうか。他にイヤだけど黙認、飲んで当たり前という人達を合わせると、ほとんどの人が高校生の飲酒、喫煙は仕方ないと思っているようだ。逆の意見である反対

Q10 あなたは今の高校生活に満足していますか?

派は、賛成派と比べてとても少ない。残念な事だと思つた。
他に記すべき事としては、飲酒賛成派と、喫煙賛成派では飲酒賛成派の方が多い。これも酒なら体に害を与えないし、飲む時は皆で騒げるからなどの理由からだろうか。

一部に満足している。といった人が多い、
そしてすべて不満、わからないと続く。満足
している事柄については多くが部活動をあげ
ている。授業中、委員会などの解答は皆無に
等しい。やはり部活動は高校生活の中で一つ
の柱なのだろう。しかし部に入っていない人達
はどうなのだろうか。

Q 11 あなたの趣味はなんですか？

聴く、これはレコード鑑賞など音楽全般に
ついてだろう。そして作る、スポーツ、そし
て楽器演奏、ギターを弾く人が主だろうか。
他にもカメラ、釣り、読書、映画、演劇な
ど多方面にわたっている。

Q 12 戦争が起こりそうになつたらどうし ますか？

ほとんどの人が反対を唱えるといっている。
そして不幸にも始まつてしまつたら、今度は
ほとんどの人が逃げると答えている。しかし
実際に戦争を体験したわけではないので、本
当に始まつてしまつたらどんなものであろう
か。ともかく戦争については関心が薄いよう
に思われる。

ダンス部から

同窓会活動での人間関係には、何か潤いが
あるものです。先輩・後輩・若き新会員の
方々も一緒に同窓生相互の交流をはかり、そ
んな和気あいあいとした雰囲気の中で、プロ
の先生にダンスを習い、総練習を兼ねたパー
ティで、楽しい時を過ごしてみたいと思いま
せんか？ 覚えたステップは、学校のパーティ
はもちろん、職場でも、外国へ行つても通用
します。

講習会・パーティは、六月・十月の毎日常
日年二回です。皆様のおいでをお待ちしてお
ります。

講習会の内容は初級・ルンバ・マンボ・ブ
ルース・ジルバ・ワルツ・新しいステップを
覚えたい方には、中級・キューバンルンバ・
チカチャ・タンゴ・クイックステップ・ワル
ツを予定しております。

さわやかな風にして軽やかなステップを
どうぞふるってご参加下さい。

会場 浅野ダンススクール 池袋西口
講師 浅野ダンススクール教授部
会費 四〇〇円



日程 六月・十月の毎日常日

初級と中級があります。

問合先 板橋区小茂根一ノ三〇

ハイツ小竹 二〇一号室

藤沢洋二郎

TEL(九五七) 九五三三

市三会

川越見学会

— 第三回かしの木展 —



卒業生有志の市三会（会員百数十名）では地元在住の恩師松本刺雄先生のご案内で川越の史蹟を見学いたしました。

恩師田崎幾太郎先生共二十数名で、55年7月20日(日)

平林寺—喜多院—五百羅漢—市内見学（初春昼食）—吉見観音—ベーチエツト江南施設

のコースでした。施設の隣地では、泥にまみれた豚の放し飼いを、昔の風情をなつかしみました。

第三回かしの木展は、55年11月18日—23日(日)まで、銀座・長谷川画廊で行い、新聞紙上への掲載など、マスコミのご協力で盛会裡に終わりました。売上から金三十万円をベーチエツト協会に寄贈し感謝されました。



昭和54年度

都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和54. 5. 9～55. 5. 14の間の会計は次の通りになります。

昭和55年5月14日 会長 渡辺 剛彰
 会計 太田 敏夫
 監査の上、正確であることを認証します。
 会計監査 横沢 靖夫
 " 鎌田 次彦

1. 財産目録(55. 5. 14)

イ、貸付信託(基本財産) 9,610,000円
 ロ、現金 1,330,861円
 ハ、物品 ①両開き書庫2、②書類入れ、③手提金庫、④机2、⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストーフ1
 ニ、郵便口座 0円
 ホ、奨学基金(金銭信託) 763,629円
 ヘ、会館建設基金(") 780,655円

2. 現金

イ、収入 3,958,451円
 繰越し 808,310円
 会費(54年度6,000×401) 2,406,000円
 寄付 38,342円
 協賛金 190,000円
 名簿代 12,600円
 郵便振替 44,400円
 利息 468,799円

ロ、支出 2,627,590円

経常費 2,027,590円
 各部会計 50,000円
 名簿(620部) 988,900円
 会報印刷 266,000円
 内 " 送料 514,860円
 " 発送費 80,000円
 後援費(母校・卒業生) 30,000円
 人件費 25,000円
 訳 通信交通費 16,000円
 渉外費 16,000円
 運営費 30,830円
 慶弔費 10,000円
 貸付信託 600,000円
 ハ、繰越し 1,330,861円

職員異動

転任された先生(在職)

吉野 啓也(体育) 17年 中野区指導主事
 太田 三郎(物理) 13年 都立狛江高校
 糸洲 満(体育) 6年 " 城南 "
 松橋 猛(英語) 3年 " 城東 "
 浅川伝二郎(事務長) 4年 " 三鷹 "
 赤城 和子(主事) 8年 " 東 "

解任された先生(前任校)

小林 省三(物理) 都立練馬工業高校より
 椿 光弘(数学) " 足立 "
 藤田 昭彦(英語) " 大泉高校
 渡辺 雅子(英語) " 武蔵村山東 "
 野口 高明(体育) 新卒
 山田健之輔(事務長) 都立南葛飾高校より
 並木 成美(理科助手) 新任

同窓の教職員

西岡 弘(国語)・太田 敏夫(国語)・
 椿 光弘(数学)・並木 成美(理科助手)

昭和55年度予算案

[収入] 4,752,861円
 繰越金 1,330,861円
 利息・配当 470,000円
 55年度会費(6,500×408) 2,652,000円
 その他(貸助金21,000円他) 300,000円
 [支出] 3,900,000円
 経常費 2,900,000円
 各部 50,000円
 名簿 1,300,000円
 (うち、索引の作りなおしが約300,000円)
 会報印刷 280,000円
 " 送料 520,000円
 " 発送費 80,000円
 後援費(母校及び卒業生) 50,000円
 人件費 30,000円
 通信交通費 30,000円
 渉外費 20,000円
 運営費 封筒1万枚 80,000円
 その他 40,000円
 慶弔費 10,000円
 40周年記念行事関係費 400,000円
 (資料保存ロッカーその他)
 予備費 10,000円
 貸付信託 800,000円
 奨学基金 100,000円
 会館" 100,000円
 [繰越し] 852,861円

卒業生進路状況 - 1 -

(1) 55年度就職予定者

氏名	就職先会社名	氏名	就職先会社名
井上 一男	マツヤカラ	広瀬 久美子	資 生 堂
奥川 智之	国 鉄	上野 美もえ	日 本 信 販
高原 耕治	ジャパンクリエートクラブ	栗原 博子	三 菱 銀 行
鈴木 規之	新東京日産自動車販売	島田 由紀子	日 本 勤 業 角 丸 証 券
茂木 識義	消 防 官	田中 千枝子	大 和 証 券
栗原 佐知子	中央信託銀行	山田 典子	東 邦 電 気 工 業
丸山 明及	太 陽 生 命	菊池 紀子	日新火災海上保険
伊藤 美佐子	東京相互銀行	小池 明子	日 本 信 販
清水 恭子	三 井 銀 行	武田 伸子	塩 野 義 製 薬
長岡 利佳	大 蔵 省 印 刷 局	藤田 由美子	日 新 製 鋼
福田 佳苗	安田火災海上保険	両角 恵美子	三 井 銀 行
太田 秀美	安田火災海上保険	渡辺 美由貴	立 石 電 機
加藤 智香	住 友 銀 行	飯塚 美智子	関 東 マ ツ ダ
佐藤 恭子	ク ラ ヤ 薬 品	小田切 智子	掛 川 信 用 金 庫
林 千浪	三 菱 銀 行	上平 恵理	東京海上火災保険
林 真奈美	三 井 銀 行	長谷川 裕美	資 生 堂
市川 福恵	中央信託銀行	森 千鶴	ジ ャ ノ メ ミ シ ン
丸山 朱美	国 際 興 業	市ノ瀬 美奈子	万 有 製 薬
沓沢 貴子	理 大 事 務	今 西 えり子	自 衛 官
福田 美加子	東 京 電 力		

(2) 専修学校・各種学校

学 校 名	人数	学 校 名	人数	学 校 名	人数
竹早教員養成所	6	日本ギター学院	1	バンダイデザイン研究所	1
東京教育専門学校	1	尚美高等音楽学院	3	華服装専門学校	1
彰栄保育専門学校	2	舞台芸術学院	1	かねよう総合美容専門学校	1
大宮保育専門学校	1	日本音楽学校	1	東京総合理容美容専門学校	2
東京都練馬高等保育学院	3	桑沢デザイン研究所	2	国際理容美容専門学校	1
日米英会話学院	3	東京オペレーター学院	1	メーカー・アップ・アーティスト学院	2
東京外語専門学校	1	日本工学院	1(1)	文化服装学院	3
神田外語専門学校	1	日本電子専門学校	3	織田学園きもの専門学校	1
津田スクール・ビジネス	5(1)	東京映像芸術学院	1	武蔵野調理学校	1
通訳ガイド養成所	1(1)	東京工学院専門学校	2(1)	日本絵本専門学校	1
YMCA英語専門学校	3	お茶ノ水タイプ専門学校	1	ジャパングルーミングスクール	1
ローズ英会話学校	1	千代田ビジネス学院	1	早稲田速記学校	2
東京スクール・オブ・ビジネス	1	日本テレクステレタイプ学院	1	東京観光学校	1
一ツ橋スクール・オブ・ビジネス	4	村田簿記学校	1	東京総合写真専門学校	1
順天堂大学付属看護学校	1	大原簿記学校	1	東京YMCA体育学校	1
慶応大学医学部付属		東京デザイナー学院	4	千葉県立養護教諭養成所	1
厚生女子学院	1	日本デザイナー学院	1(1)	計	82

編集後記

32 期 E

箕浦 薫

あ——あと一科目！早く来い来い春休み！みなさんお元気ですか？私？ええなんとか生きてます。

「編集後記」なんて言えるほどカッコイイ事書けませんけど、最近思うこと——相変わらず時間の使い方がヘタで、過ぎ去った「時」を未練がましく思っているなあ、小さな子を見てるとむしようにうらやましくなったり、なんか精神的に老けているなあって思います。ええい、ファイトファイト！

OBの方にお話を伺いながら、自分は文京生だったのだ、そしてこの方も、と思うと、不思議な気がしてこの仕事をして良かったと感じます。一人でも多くこの会報を読んでもらえたら、と思います。

(32期E 箕浦 薫)

31 期 A

河辺 恒治

前号に続き、二度目の編集に携わった。内容に進歩なく、責任を感じる。発行される日が待ちどろしく、又同時に不安でもある。恐らく編集者にとってもっとも不安なのは発行後であるといえるかもしれない。読者はどんな風に読んだらうか？——それ以前にどれだけの読者がいるのか？——拙稿を自認しつつも多くの人に目を通してもらいたいという望みは依然大きい。卒業生にとってヨコの関係をつなぐものにはクラス会がある。しかしタテの関係をつなぐ系は少なく、又あっても範囲が限られてしまう。その意味でこの会報のもつ意義はとても大きいと思う(過大評価?)

身を切り裂くような寒風の中、ひたすら陽気に春を待つ屠殺場のブタのごとく、先輩諸兄の御意見をお待ちしております。

都立文京高等学校同窓会会報

紫 笥 23号 昭和56年3月1日刊

編集 箕浦薫・河辺恒治・島田綾子

32 期 F

島田 綾子

今回初めて「紫笥」で編集の仕事させていただきました。インタビュ後、テープを原稿にする作業や、どのような記事を書けるかなど、むずかしいことが多く、できあがるまでなかなかたいへんでした。でもとにかく何とか形になってほっとしています。直撃インタビューの中西さんには、生放送直前のお忙しい時間を取材のために裂いていただいたり、表紙を書いて下さった白塚さん、原稿を寄せて下さった方々など、皆さん御協力ありがとうございました。今年で「紫笥」も二十三号、卒業生は三十三期にもなりました。読者の方々の年令の幅は三十五才にもなる訳です。力不足のため、何とも稚拙な編集となりました。申し訳ありませんが、皆さんに楽しんで読んでいただければ幸いです。

住所 豊島区西巢鴨1-1-5

☎ 九一〇—八二三—

印刷 シミズ印刷 ☎ 八二二—一六三五

勝山歯科医院

一A 勝山和夫

墨田区太平3-14-5

Tel(医院)623-6592(自)659-5675

八洲印刷K.K.

一B 川上光男

114 北区王子本町2-11-6

Tel(会)909-3211(自)815-2839

池袋大久保病院

(内科・胃腸科)

院長

二B 大久保宏

〒170 豊島区西池袋1-43-5

Tel(医院)987-3785~7
(自)981-1623**豊北整形外科**

(神経痛、骨折)

一A 鈴木勲

〒176 練馬区豊玉北5-30

西武練馬駅・安田生命ウラ

Tel 991-8424

(株)栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)

一B 栗原正昭

〒111 台東区元浅草4-5-5

Tel 841-2515(代)

弁護士

二D 原田策司

中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階

Tel 571-1780(代)

自宅 大田区上池台3-30-1

ヨシヒデ金属KK代表取締役(非鉄金属材料の販売
金属材料コンサルタント)

一A 郡司良典

〒180-03 東久留米市小山1-17-3

Tel 0424-71-4415

出光ガソリンスタンド**自動車販売整備**

飯田橋・神保町

一B 末正明

〒112 文京区後楽2-6-1

Tel 261-5111(自)811-0755

三A 木藤 慧

〒158 世田谷区瀬田5-37-3

Tel 700-6927

婦人科渡辺クリニック

一A 渡辺邦緒

〒107 港区北青山3-5-22

青山通り富士銀行ソバ

Tel(医院)403-3777(自)719-1778

同窓有志の集い**市三会**

世話人 一B 末正明

一B 栗原正昭

4E 榎本幸三

産婦人科

三E 小室陽一

〒114 北区岸町1-12-22

Tel(医院)907-0303(自)907-0280

弁護士

一A 渡辺剛彰

〒113 文京区西片2-12-23

Tel(事)814-1984(自)811-7704

高松診療所

一B 野久保泰徳

〒190 立川市高松町2-2-14

Tel 0425-27-3541

静谷クリニック

(内科)

四B 静谷晴夫

〒170 豊島区西巣鴨4-6-2

Tel(医院)910-1336(自)910-1219

渡辺歯科医院

一A 渡辺敏雄

〒160 新宿区新宿7-2-4

Tel(医院)203-3952

(自)351-7976

虎の門日比谷クリニック(皮膚科、泌尿器科、形成外科
健保扱い)

一C 山中秀男

(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20

〒105 渋谷虎ノ門1-1-20

虎ノ門実業会館5階

(医院)508-2508(自)714-9518

静谷歯科医院(歯科一般)

4D 静谷栄夫

(午前)〒170 豊島区駒込3-11-3

Tel 915-1108

(午後)〒170 豊島区巢鴨3-8-15

Tel 915-0072

MYフォト(ポートレート、商業
写真、スタジオ出張)

一B 板垣公章

〒181 三鷹市新川6-35-32

Tel 0422(43)6415

池谷製作所

(メガネ・レンズ製作)

一D 池谷利一

〒160 新宿区大久保2-13-16

Tel(経)209-8631(自)209-8118

南浦和・セキハタ歯科医院

21・I 関端 徹

〒336 浦和市南浦和2-7-17

Tel(医院)0488-86-1818

(経)0482-68-9176